

## 「与論小学校の与論十五夜踊伝承活動の取組」

### 1 学校名

与論町立与論小学校

### 2 学年・人数

4～6年生（計32人）

### 3 日時・場所

#### （1）練習の日時・場所

平成30年8月～10月 与論小学校（教室・校庭），琴平神社

#### （2）発表の日時・場所

平成30年9月24日 琴平神社

平成30年10月7日 与論小学校運動会

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

#### （1）名称

与論十五夜踊（よろんじゅうごやおどり）

#### （2）由来

1561（永禄4）年に，当時の与論城主が，島内・琉球・大和の芸能を学ばせ，当時の島の娯楽としたもの。旧暦3月・8月・10月の十五夜に行われる。

#### （3）構成等

初めに，二番組・一番組合同で雨乞いの踊りを奉納する。

その後，二番組・一番組の順に踊りを奉納し，最後に六十節・沖泊まりを奉納する。旧暦8月の十五夜では獅子舞と綱引きも行う。

### 5 保存会や地域との連携の具体

十五夜踊は本来世襲制で行われていたが，少子化の影響もあり，現在は教育委員会や町と協力しながら，新規会員（踊り子）の募集と伝承・保存に努めている。その事業の一環として現在は与論小学校の児童に，二番組・一番組双方の踊りを伝承する活動を行い，後継者育成に努めている。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

「総合的な学習の時間」を使い，十五夜踊保存会の踊り子に直々に指導を受けている。学校の運動会で発表，豊年祭で奉納するため，地域の方々に披露する機会を設けている。

## 7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



十五夜踊りの様子（与論小学校運動会）



十五夜踊りの様子（豊年祭琴平神社）

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

（十五夜踊保存会）

450年以上前から現代まで受け継がれてきている与論十五夜踊であるが、少子化，過疎化の影響もあり会員数の減少に悩まされている。そのため，現在は消滅の危機にある演目も出てきており，新規会員の加入・後継者の育成が急がれる。

踊りの奉納場所の琴平神社や，会員が多く居住する城・朝戸集落を校区に含む与論小学校には国の重要無形民俗文化財である十五夜踊を生徒に学ぶ機会を設けてもらうことで，地域に誇りを持ち郷土愛を持ってほしい。

この活動を始めて20年近くになるが，今後も郷土に誇りを持ち，十五夜踊の習得に励んでいただきたい。

（児童）

十五夜踊りを毎年運動会で発表しています。今年は，昨年度に引き続き，豊年祭での踊りを奉納することができた。踊りを指導してくれた十五夜踊保存会の方々や先生方，地域の人たちに感謝しながら踊ることができたことを嬉しく思います。この十五夜踊りを与論小の伝統として後輩にも引き継いでいきたいです。